

補助ソフトウェア vybm

voya を本にたとえれば、vybm は、栞(しおり)であり、voya に添付されています。vybm は、voya の設定ファイルを編集するウィンドウです。voya.csv の編集、保存、バックアップが可能です。また、vybm は、トリップ検索スレッドが作成したバッチファイルとほぼ同等の処理を行うバッチプロセスです。利用者が voya のウィンドウを閉じたとき、一時ファイルをログに追加するために、voya は、vybm を起動します。vybm (VoYa BookMark for editing voya.csv)

ダイアログではない

voya のヘルプと同様、vybm ウィンドウは、独立したウィンドウであり、トリップ検索スレッドは、終了しません。vybm を起動した状態で、voya のタイトルバーをクリックすれば、キーボードのフォーカスは、voya に移動します。

第 1 列にある項目名

voya の Setting ダイアログとも Details ダイアログとも異なり、vybm は、voya.csv を 7 ページで表示できます。vybm ウィンドウは、第 1 列にある項目名も編集できます。

入力ボックス

タブをクリックすることで、ページを切り替えることができます。各ページは、2 列の表です。表をクリックすることで、入力ボックスを表示できます。

実行ファイルを構築

vybm は、32 ビットアプリケーションです。Borland 無料コマンドラインコンパイラで vybm を構築できます。ソースコードが添付されています。makefile.mak も添付されています。Sogaya(そがや)は、vybm の著作権を保有しています。Copyright 2015 Sogaya

免責条項

vybm のご利用に関して発生するいかなる損害にも、そがやは、責任を負わないものとしします。

vybm ユーザーズガイド第 1 版

2015 年 9 月 12 日(土) Revision 1.01

インストール

ZIP を展開

1. トリシーカーというウェブサイトから、voyaWin32API.zip をダウンロードしてください。
2. voyaWin32API.zip を展開してください。voyaWin32API というフォルダができます。
3. 利用者は、フォルダの改名、移動が可能です。

プログラムの削除

アンインストール(プログラムの削除)を行うには、フォルダごと削除してください。

概要

vybm を起動するには、voya の Tools メニューから vybm を選択してください。さもないと、以下の手順に従ってください。

エクスプローラでダブルクリック

1. テキストエディタで設定ファイル(voya.csv)に要望を記載して、vybm と同じフォルダに保存してください。
2. エクスプローラで vybm を表示して、vybm をダブルクリックしてください。
3. vybm のウィンドウを閉じるには、File メニューから Exit を選択してください。

Details ウィンドウおよび Setting ウィンドウ

設定ファイル(voya.csv)を表示するには、voya の Tools メニューから vybm を選択してください。F11 および F12 を交互に押してみてください。voya の Details ウィンドウおよび Setting ウィンドウは、それぞれ F11 および F12 で代替されます。

選択したページを記憶

Details ウィンドウに対応する内容は、6 ページにわたるため、タブをクリックして選択してください。vybm は、選択したページを記憶しています。まず、F12 を押してください。Setting ウィンドウに対応する 1 ページが表示されます。次に、F11 を押してください。vybm は、記憶していたページを表示します。

設定ファイルの編集

変更したい部分をクリックしてください。入力欄が表示されます。入力した内容を保存するには、ポインティングデバイス(マウス、タッチパッドなど)のカーソル(矢印、I など)が入力欄の中にある状態で Insert を押してください。

総和

重み分布に基づいて、vybm は、総和を計算します。総和は、ステータスバーの第 1 欄(左端)に表示されます。総和が 65536 より大きい場合、以下のエラーメッセージがステータスバーの第 2 欄(中央)に表示されます。

Large sum of weight.



正規化

トリを検索する前に総和を計算して、エラーが無いように、重み分布を正規化するには、Fileメニューから Normalize を選択してください。さもないければ、Delete を押してください。voya.csv に保存されます。

制御ファイルの日時

ファイルに空白を追加すれば、ファイルの日時を変更できます。voyaCtrl.txt の日時を変更するために、空白を追加するには、Ctrl を押しながら T を押してください。

スレッドの停止

検索回数が設定値に達したとき、トリップ検索スレッドは、voyaCtrl.txt の日時の変化を検出するため、スレッドは、終了します。すなわち、キーボードのフォーカスが vybm にあるとき、Ctrl + T でスレッドを停止できます。

バッチプロセス

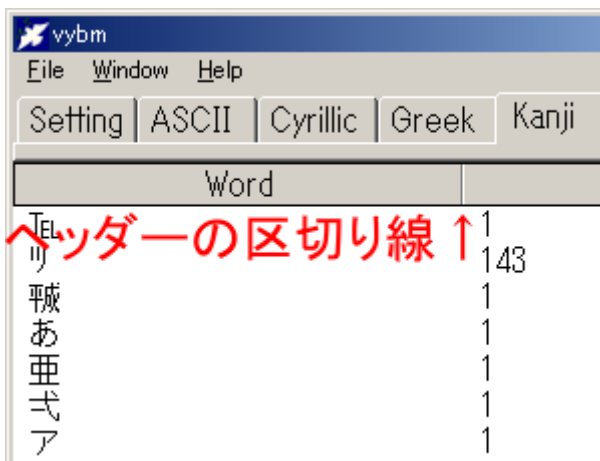
コマンドプロンプトに vybm -b を入力して Enter を押した場合、トリップ検索スレッド作成のバッチファイルにしたがって処理します。処理が正常に終了した場合、vybm は、自動的にウィンドウを閉じます。

vybm ウィンドウを閉じる

voya の Tools メニューから vybm を選択して起動した vybm ウィンドウを閉じるには、vybm の File メニューから Exit を選択してください。さもないければ、F3 を押してください。

区切り線を操作

vybm は、2 列を表示しますが、ポインティングデバイス(マウス、タッチパッドなど)で、2 列のヘッダーの区切り線を操作できます。



狭いヘッダー

標準的なヘッダーではなく狭いヘッダーに設定するには、Window メニューから Narrow を選択してください。さもなければ、F4 を押してください。ヘッダーの区切り線が移動して、ウィンドウが狭くなります。

右下に移動

画面の四隅のうち、右下にウィンドウを移動するには、Window メニューから Diagonal を選択してください。左上、右上、左下は、それぞれ Corner, Right, Under を選択してください。

CSV ファイル voya.csv

CSV は、コンマで分離された文字列からなるテキストファイルです。表計算ソフトウェアで CSV を表示できます。

テキストエディタ

CSV ファイルは、テキストファイルであるため、テキストエディタで編集が可能です。テキストエディタとしては、メモ帳、サクラエディタ、TeraPad などがあります。テキストエディタは、CSV の検索および編集に適しています。表計算ソフトウェアと異なり、テキストエディタは、CSV の表示に適していません。

CSV エディタ

Cassava, CSEditor などの CSV エディタは、CSV の表示および編集が可能です。商品のテキストエディタとして、MIFES は、CSV モードがあります。

コメントを削除

voya.csv にコメントを記入するには、二重ではない引用符 (') を使用してください。ただし、vybm は、引用符から行の末尾まで削除します。行の先頭に引用符がある場合、

voya.csv のその行は、「WIDE_7,GAP,」になります。

入力ボックス

行をクリックしてください。入力ボックスが表示されます。上向き、下向き、左向き、右向きの矢印キーで入力ボックスを移動できます。挿入および削除が可能です。Insert を押すたびに、上書きおよび挿入のモードが切り替わる機能は、ありません。

解消

入力ボックスを解消するには、File メニューから Save を選択してください。さもなければ、他のタブをクリックしてください。

保存

入力した内容を voya.csv に保存するには、ポインティングデバイス(マウス、タッチパッドなど)のカーソルが入力ボックスの内部にある状態で、Insert を押してください。File メニューから Save を **マウスで選択した場合、カーソルは、入力ボックスの外部にあるため、保存されません。**

キーで選択

File メニューから Save をキーで選択するには、Alt を押しながら F を押して、そのまま Alt を押しながら S を押してください。Alt + F, Alt + S は、この操作を意味します

タブにフォーカスが無い

タブにフォーカスが無い場合、Home を押してください。入力ボックスが表の左上に表示されます。

タブにフォーカスがある

タブにフォーカスが無い状態にするには、Version ウィンドウを表示して閉じてください。さもなければ、Manage ウィンドウを表示して閉じてください。タブにフォーカスが無い状態にするキー操作の例

Alt + H, Alt + V, ESC

無効

入力ボックスが表示されている行を無効にするには、ステータスバーをクリックしてください。

voya.csv を復活

インストールしたときの設定に voya.csv を復活するには、File メニューから Recovery を選択してください。

バックアップ

起動して voya.csv を読み込むたびにバックアップを作成するには、manage.txt の第 16 行に 1 を記入してください。バックアップは、voy12-34.csv のような一時ファイルです。

一時ファイルは、voy 分-秒.csv の形式で命名されます。

通し番号

通し番号を付与できます。46 分 32 秒の時刻に 11 号の一時ファイルが作成された場合、voya.csv のバックアップである一時ファイルの名前は、voy11-46-32.csv になります。

行を無効にする

行を無効にするには、まず、行をクリックしてください。入力ボックスが表示されます。次に、ステータスバーをクリックしてください。さもなければ、File メニューから Omit を選択してください。voya.csv のその行は、「WIDE_7,GAP,」になります。

ファイルから符号を読み込む

符号そのものは、記憶されません。符号で代替された元の文字列が記憶されます。空白は、見えないため、テキストエディタで voya.csv を閲覧したほうがわかりやすい。符号は、以下のとおりです。

符号	記憶	説明
COMMA	,	半角のコンマ
GAP	↵	半角の空白
SPACE	↵	全角の空白
WIDE_2	↵	2 個の半角空白
WIDE_3	↵	3 個の半角空白
WIDE_4	↵	4 個の半角空白
WIDE_5	↵	5 個の半角空白
WIDE_6	↵	6 個の半角空白
WIDE_7	↵	7 個の半角空白

管理ファイル manage.txt

CSV ファイルおよび管理ファイル(manage.txt)の両方が vybm の起動に必要です。CSV ファイルと異なり、manage.txt は、各行に 1 個の数が記入されています。manage.txt は、25 行からなります。25 行のうち、第 16 行、第 22 行、第 20 行、第 21 行、第 23 行の順に 5 行を表示するには、File メニューから Manage を選択してください。Manage ウィンドウが表示されます。Manage ウィンドウで、利用者は、5 個のチェックボックスを設定できます。

バックアップ

起動したとき、vybm は、voya.csv を読み込みます。File メニューから Omit, Preedit, Recovery, Save のどれを選択しても、vybm は、voya.csv を読み込みます。Insert を押

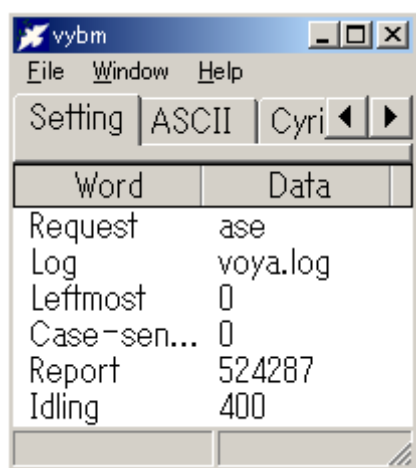
したとき、vybm は、voya.csv を読み込みます。voya.csv を読み込むたびにバックアップを作成するには、manage.txt の第 16 行に 1 を記入してください。

短縮ウィンドウ


F8を押すたびに、ウィンドウの高さに関して、短縮および標準が切り替わります。起動するとき短縮ウィンドウを生成するには、manage.txt の第 23 行に 1 を記入してください。

コンパクトなウィンドウ

狭いヘッダーと短縮ウィンドウを組み合わせれば、コンパクトなウィンドウになります。画面の中央にコンパクトなウィンドウを表示するには、Window メニューから Inquiry を選択してください。F4, F8, F5



最小化

ウィンドウを最小化するには、Window メニューから Minimize を選択してください。さもないければ、最小化ボタン()を押してください。復元するには、タスクバーにあるアイコンをクリックしてください。

カーソルがどこにあるか

ポインティングデバイス(マウス、タッチパッドなど)のカーソルが画面のどこにあるか、ステータスバーの第 2 欄(中央)に座標を表示するには、manage.txt の第 24 行に 1 を記入してください。カーソルが表の内部にある場合、inside が表示されます。表の外部にある場合、outside が表示されます。

幅広ウィンドウ

F9 を押すたびに、ウィンドウの幅は、幅広および標準が切り替わります。ヘッダーの区切り線は、移動しません。起動するとき幅広ウィンドウを生成するには、manage.txt

の第 25 行に 1 を記入してください。

画面の四隅

画面の中央から四隅にウィンドウを移動できます。四隅のうち、右下に移動するには、Window メニューから Diagonal を選択してください。起動するとき右下にウィンドウを表示するには、manage.txt の第 17 行に 3 を記入してください。

1 ならば左上

四隅のうち、左上に移動するには、Window メニューから Corner を選択してください。起動するとき左上にウィンドウを表示するには、manage.txt の第 17 行に 1 を記入してください。

2 ならば右上

四隅のうち、右上に移動するには、Window メニューから Right を選択してください。起動するとき右上にウィンドウを表示するには、manage.txt の第 17 行に 2 を記入してください。

4 ならば右下

四隅のうち、左下に移動するには、Window メニューから Under を選択してください。起動するとき左下にウィンドウを表示するには、manage.txt の第 17 行に 4 を記入してください。

標準のウィンドウ

標準のヘッダー、幅、高さ、位置に設定するには、Window メニューから Standard を選択してください。さもなければ、Ctrl を押しながら N を押してください。Ctrl + N は、この操作を意味します。短縮から標準になります。幅広から標準になります。狭いヘッダーから標準ヘッダーになります。標準のウィンドウが画面の中央に表示されます。

0 ならば中央

画面の中央に移動するには、Window メニューから Center を選択してください。標準のウィンドウではなく、狭いウィンドウ、幅広ウィンドウ、短縮ウィンドウ、コンパクトなウィンドウを中央に表示できます。

タイトルバーをドラッグ

Center, Corner, Diagonal, Right, Standard, Under の移動で、vybm は、ウィンドウの左上を記憶します。タイトルバーをドラッグすることでウィンドウを移動できますが、vybm は、ウィンドウの左上を記憶しません。現在のウィンドウの左上を vybm に記憶させるには、F10 を押してください。

漢字を選択

Details ウィンドウおよび Setting ウィンドウは、それぞれ F11 および F12 で代替されませんが、F11 を押したとき表示されるページとして、漢字を選択するには、manage.txt の

第 19 行に 1 を記入してください。

狭いヘッダー

標準ヘッダーではなく狭いヘッダーに設定するには、Window メニューから Narrow を選択してください。さもないと、F4 を押してください。ヘッダーの区切り線が移動して、ウィンドウが狭くなります。起動するとき狭いウィンドウを生成するには、manage.txt の第 20 行に 1 を記入してください。

幅広ではない

狭いヘッダーを設定した場合、第 25 行に 1 を記入しても無視されます。

コンパクト

狭いヘッダー、短縮ウィンドウ、中央に移動の組合せ (F4, F8, F5) でコンパクトにするには、Window メニューから Inquiry を選択してください。

まず一時ファイルを削除

起動するときウィンドウを生成する前に remove_e.txt にしたがって一時ファイルを削除するには、manage.txt の第 21 行に 1 を記入してください。

削除対象のファイルのリスト

remove_e.txt は、各行に 1 個の一時ファイルの名前があります。remove_e.txt を生成するには、File メニューから Clean を選択してください。さもないと、F7 を押してください。

一時ファイルの番号

ファイル名に通り番号を付与するには、manage.txt の第 22 行に 1 を記入してください。テキストエディタで serial.txt の表示および編集が可能です。serial.txt の第 1 行に 0 が記載されている場合、一時ファイルの番号は、1 になります。serial.txt の第 1 行に 1 が記載されている場合、一時ファイルの番号は、2 になります。

who 番号-分-秒.txt

46 分 32 秒の時刻に 11 号の一時ファイルが作成された場合、voya.csv のバックアップである一時ファイルの名前は、voy11-46-32.csv になります。46 分 32 秒の時刻に 12 号の一時ファイルが作成された場合、who12-46-32.txt になります。

manage.txt を復活

インストールしたときの設定に manage.txt を復活するには、起動する前に manage.txt を削除してください。起動するとき自動的に作成します。

バックアップ

CSV ファイルと異なり、管理ファイルは、自動的なバックアップが行われません。

行を並べ替えたファイル vybm.csv

vybm は、voya.csv を読み込んで、vybm.csv を作成します。行が並べ替えられていますが、内容は、同一です。

ページに行を配分する

manage.txt の第 1 行から第 14 行までは、vybm.csv の行番号です。たとえば、Kanji タブのページに配分する行の終了および開始は、第 14 行および第 20 行であり、それぞれ manage.txt の第 7 行および第 8 行に記載されています。

ページに配分する行の終了および開始	voya.csv の行番号
ASCII の終了	9
ASCII の開始	7
Cyrillic の終了	11
Cyrillic の開始	10
Greek の終了	13
Greek の開始	12
Kanji の終了	20
Kanji の開始	14
Mathematical の終了	30
Mathematical の開始	21
Salt の終了	34
Salt の開始	31
Setting の終了	6
Setting の開始	1

コマンド

フォルダのことをディレクトリとも言います。コマンドプロンプトは、cmd.exe を実行することで生成されます。Windows のスタートのメニューのアクセサリとしてメニューからコマンドプロンプトを選択してください。コマンドプロンプトが開きます。ダブルクリックではなく、コマンドで vybm を起動するには、コマンドプロンプトに vybm を入力して Enter を押します。その方法を説明します。

パラメーターを優先

管理ファイルとコマンドのパラメーターが矛盾する場合、vybm は、コマンドのパラメーターを優先します。

省略されたパラメーター

省略されたパラメーターは、manage.txt にしたがって決定されます。

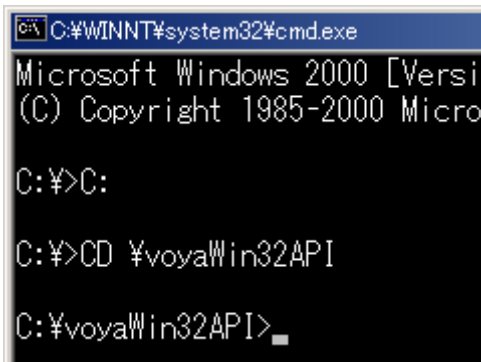
C ドライブ

C:¥voyaWin32API に vybm.exe がある場合、現在のドライブが C であれば、ドライブを変更する必要がありません。現在のドライブが C ではない場合、以下のコマンドを入力して Enter を押してください。

C:

CD コマンド

ディレクトリから次のディレクトリに移動するには、CD コマンドを利用します。CD コマンドは、どの Windows にも最初から用意されています。たとえば、C:¥voyaWin32API に移動するには、CD ¥voyaWin32API を入力して Enter を押してください。大文字小文字は、区別されません。



```
C:\> C:¥WINNT¥system32¥cmd.exe
Microsoft Windows 2000 [Versi
(C) Copyright 1985-2000 Micro

C:¥>C:

C:¥>CD ¥voyaWin32API

C:¥voyaWin32API>_
```

起動支援ソフトウェア ColonYen

トリシーカーというウェブサイトから ColonYen をダウンロードできます。ColonYen.txt にしたがって、ColonYen は、**まずディレクトリに移動**して、次に、cmd.exe を起動します。起動したら、ColonYen 自体は、閉じます。

<http://tori.tobihiro.jp/ColonYen.html>

スタートメニューから ColonYen を選択

ColonYen のアイコンをクリックすることで C:¥voyaWin32API でコマンドプロンプトを開くことができます。



バッチプロセス

コマンドプロンプトに `vybm -b` を入力して Enter を押した場合、まず `vybm` は、狭いヘッダー、短縮、Setting ウィンドウ、右下の組合せ (F4, F8, F12, Page Down) でウィンドウを生成します。次に、その **ウィンドウを表示しない** 状態で、トリップ検索スレッド作成のバッチファイルにしたがって、COPY コマンドおよび DEL コマンドに相当する処理を行います。処理が正常に終了した場合、`vybm` は、自動的にウィンドウを閉じます。

バックアップ

起動して `voya.csv` を読み込むたびにバックアップを作成するには、コマンドプロンプトに `vybm -a` を入力して Enter を押してください。バックアップは、`voy12-34.csv` のような一時ファイルです。一時ファイルは、`voy 分-秒.csv` の形式で命名されます

画面の四隅

起動するとき、画面の四隅のうち、右下にウィンドウを表示するには、コマンドプロンプトに `vybm -c3` を入力して Enter を押してください。

1 ならば左上

画面の四隅のうち、左上にウィンドウを表示するには、コマンドプロンプトに `vybm -c1` を入力して Enter を押してください。

2 ならば右上

画面の四隅のうち、右上にウィンドウを表示するには、コマンドプロンプトに `vybm -c2` を入力して Enter を押してください。

4 ならば左下

画面の四隅のうち、左下にウィンドウを表示するには、コマンドプロンプトに `vybm -c4` を入力して Enter を押してください。

標準のウィンドウ

ウィンドウを標準にするには、Window メニューから Standard を選択してください。短縮から標準になります。幅広から標準になります。狭いヘッダーから標準ヘッダーになります。標準のウィンドウが画面の中央に表示されます。

0 ならば中央

画面の中央にウィンドウを表示するには、コマンドプロンプトに `vybm -c0` を入力して Enter を押してください。標準のウィンドウではなく、狭いウィンドウ、幅広ウィンドウ、短縮ウィンドウ、コンパクトなウィンドウを中央に表示できます。

漢字を選択

Details ウィンドウおよび Setting ウィンドウは、それぞれ F11 および F12 で代替されま

すが、F11 を押したとき表示されるページとして、漢字を選択するには、コマンドプロンプトに `vybm -k` を入力して Enter を押してください。省略した場合、`manage.txt` にしたがって設定されます。

voya.csv を復活

インストールしたときの設定に `voya.csv` を復活するには、コマンドプロンプトに `vybm -y` を入力して Enter を押してください。

バックアップ

`manage.txt` の第 16 行に 1 が記入されている場合、`voya.csv` を読み込むたびにバックアップが行われますが、`-y` のパラメーターを指定した場合は、`voya.csv` を読み込む前に `voya.csv` を更新するため、バックアップは、行われません。

ウィンドウを生成しない

インストールしたときの設定に `voya.csv` を復活するが、ウィンドウを生成しないで `vybm` を終了するには、コマンドプロンプトに `vybm -y -q` を入力して Enter を押してください。

行を無効にするパラメータ

たとえば、`voya.csv` の第 30 行以降を無視するには、`vybm -i@30` を入力して Enter を押してください。**voya.csv は、更新されます。**

バックアップ

`manage.txt` の第 16 行に 1 が記入されている場合、`voya.csv` を読み込むたびにバックアップが行われますが、`-i@30` のパラメーターを指定した場合は、`voya.csv` を読み込む前に `voya.csv` を更新するため、バックアップは、行われません。

ウィンドウを生成しない

`-q` のパラメーターを付加してください。たとえば、スラッシュ、ボックスに関して修正しないで ALL QP に関して修正するように `voya.csv` を作成したいが、ウィンドウを生成しないで `vybm` を終了するには、コマンドプロンプトに `vybm -i@30 -q` を入力して Enter を押してください。

狭いウィンドウ

起動するとき、狭いヘッダーを表示するには、コマンドプロンプトに `vybm -n` を入力して Enter を押してください。

一時ファイルを削除

起動するときウィンドウを生成する前に `remove_e.txt` にしたがって一時ファイルを削除するには、コマンドプロンプトに `vybm -r` を入力して Enter を押してください。

rvoy コマンド

remove_e.txt を作成するには、コマンドプロンプトに rvoy を入力して Enter を押してください。rvoy.exe は、voya に添付されています。

C のソースコード

rvoy.exe は、voya に添付されています。C のソースコードが C:\¥voyaWin32API¥commands にあります。

小さいファイルのみ

remove_e.txt に小さい一時ファイルのみ含めるには、コマンドプロンプトに rvoy -x64 を入力して Enter を押してください。64 バイト未満の一時ファイルのみ remove_e.txt に追加されます。

一時ファイルの番号

ファイル名に通し番号を付与するには、コマンドプロンプトに vybm -l(マイナスエル)を入力して Enter を押してください。テキストエディタで serial.txt の表示および編集が可能です。serial.txt の第 1 行に 0 が記載されている場合、一時ファイルの番号は、1 になります。serial.txt の第 1 行に 1 が記載されている場合、一時ファイルの番号は、2 になります。

who 番号-分-秒.txt

46 分 32 秒の時刻に 11 号の一時ファイルが作成された場合、voya.csv のバックアップである一時ファイルの名前は、voy11-46-32.csv になります。46 分 32 秒の時刻に 12 号の一時ファイルが作成された場合、who12-46-32.txt になります。

短縮ウィンドウ

起動するとき、短縮したウィンドウを表示するには、コマンドプロンプトに vybm -s を入力して Enter を押してください。

右下にコンパクトなウィンドウ

起動するとき右下にコンパクトなウィンドウを表示するには、コマンドプロンプトに vybm -n -s -c3 を入力して Enter を押してください。

カーソルがどこにあるか

ポインティングデバイス(マウス、タッチパッドなど)のカーソルが画面のどこにあるか、ステータスバーの第 2 の欄に座標を表示するには、コマンドプロンプトに vybm -t を入力して Enter を押してください。カーソルが表の内部にある場合、inside が表示されます。表の外部にある場合、outside が表示されます。

幅広ウィンドウ

F9 を押すたびに、ウィンドウの幅は、幅広および標準が切り替わります。ヘッダーの区切り線は、移動しません。起動するとき幅広ウィンドウを生成するには、コマンドプロンプトに `vybm -w` を入力して Enter を押してください。

バージョン

どのバージョンが表示するには、まず、コマンドプロンプトに `vybm -V` を入力して Enter を押してください。V は、大文字です。次に、コマンドプロンプトに `TYPE version.txt` を入力して Enter を押してください。TYPE コマンドは、どの Windows にも最初から用意されています。大文字小文字は、区別されません。

短いコメントを付与

`vybm -l` など、各コマンドに短いコメントを付与するには、コマンドプロンプトに `vybm -VC` を入力して Enter を押してください。次に、コマンドプロンプトに `TYPE version.txt` を入力して Enter を押してください。

```
C:\$vybm>vybm -VC
C:\$vybm>TYPE version.txt
vybm Version 1.03

vybm -a # backup
vybm -b # batch
vybm -c3 # corner-3
vybm -l # serial number
vybm -n # narrow header
vybm -q # quit
vybm -r # Remove temporary files first.
vybm -s # short window
vybm -t # Show where is the cursor.
vybm -V # version
vybm -VC # version with comments
vybm -w # wide window
vybm -y

C:\$vybm>
```